

第22回 医療安全管理者ネットワーク会議

患者安全を担保した手順の作成・導入と実践

～ 現場で行うべき医療安全行動の業務手順作成 ～

- 1) 輸血投与時の患者誤認予防手順
- 2) 病理生検検体の取り違い予防手順

医療の提供に当たって、人や物を取り違えないのが基本です。しかし、人や物の取り違えが繰り返し起きています。この繰り返しを断つのは医療安全管理者の課題です。

第22回の会議では、坂口美佐先生から、日本医療機能評価機構に報告された輸血と病理診断生検検体の取り違い事例と防止策に関するご講演いただきます。その後、これまで検討してきた“手術安全チェックリスト”と、“患者確認手順”についてまとめの報告を行います。グループワークでは、輸血の患者誤認防止対策と病理診断生検検体の誤認対策を検討します。都内での開催です。皆様の参加をお待ちしています。



嶋森 好子
ネットワーク委員会担当理事

2017年2月25日(土)

11:00-11:10 開会・趣旨説明

岩手医科大学看護・政策研究部門 教授 嶋森好子

11:10-12:10 講演

医療事故情報収集等事業への報告事例から考える

～輸血・病理検体の取り違い防止について～

講師 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部 部長 坂口 美佐先生
座長 北里大学病院 荒井 有美

12:10-13:10 昼食 (ランチ無料提供あり)

13:10-13:50 医療安全管理者ネットワーク会議が決めた手順の導入について

手術安全チェックリスト運用手順の導入

自治医科大学附属さいたま医療センター 亀森 康子

患者確認の方針・手順の導入

名古屋大学医学部附属病院

寺井 美峰子

13:50-16:45 グループワーク 手順(書)検討・作成

テーマ1: 輸血の患者誤認対策を検討しよう 血液製剤の輸血部からの出庫後の手順

テーマ2: 病理診断の生検検体の患者誤認対策を検討しよう

手術室以外での検体採取についての採取から検査部への提出までの手順

16:45-17:00 閉会 受講証明書をお出します

★多職種の皆様のご参加をお願い致します

医療安全管理者、輸血や生検検査に関与している医師、看護師、検査技師、など

★ 自施設の下記に関する手順書、マニュアル書をご持参ください

輸血投与、生検検体の誤認防止対策

★ 参加登録申込画面にて 参加希望 GW を選択してください

主催：一般社団法人医療の質・安全学会ネットワーク委員会 後援：ニプロ(株)

日時：平成29年2月25日(土)11:00~17:00

会場：東京都看護協会 2階サークル室 〒162-0815 東京都新宿区築土八幡町4-17

対象：医療安全管理者、医療安全管理を担う者

定員：100名（定員になり次第締め切り）

参加登録：医療安全管理者ネットワーク ホームページにて受付 <http://www.gsh.jp/anzen>

参加費：医療の質・安全学会会員(5,000円) 非会員(8,000円) 参加費事前振込制

振込先等：三菱東京UFJ銀行 本郷支店(店番351)普通 0212775

一般社団法人医療の質・安全学会 シヤ)イリヨウノシツアンゼンガツカイケンシユウカイ

※ 一度納入された参加費は理由の如何を問わず返却致しません。

※ 参加登録完了メールにある受付番号を振込人の氏名の前にお付けください。

(受付番号)+(氏名)

備考：参加登録完了メールを印刷してお持ちください。参加受付用紙(受付番号記載あり)となります。

アクセス



JR中央・総武線：飯田橋駅 東口から徒歩7分

東京メトロ(東西線・有楽町線・南北線)：飯田橋駅 出口B1から徒歩6分

都営大江戸線：飯田橋駅 出口C1から徒歩5分

問合せ・緊急連絡先

医療の質・安全学会ネットワーク委員会 委員

名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 古田 康之

TEL：080-8718-0834 ✉：poaroandmomo@gmail.com